

ドメーヌ・ミュニユレ・ジブール Domaine Mugneret-Gibourg



エレガントなピノ・ノワールの代名詞的なドメーヌヴォーヌ・ロマネの女傑によるフィネスを追求したワイン

1988年に先代のジョルジュ・ミュニユレ氏が死去し、ドメーヌの行く末を案じられたものの、次女のマダム、マリ・アンドレ女史を中心に、長女のマダム・マリ・クリスティーヌ女史のサポートもあり、現在ではジョルジュ氏の存命時以上の名声を確立している。クロド・ヴージュを看板畑として、合計で8.3haの畑を所有する。リュット・レゾネ方式による栽培で土壌のポテンシャルを向上させ、毎年の葡萄に反映させている。低収量の上に、果を厳しく行い、本当に熟した健康的な果実だけで醸造を行っている。醸造は、エレガントなピノ・ノワールらしいアロマティックさやフィネスを第一義としているため、過度の抽出や過度の新樽の使用は行わない。年毎の個性を見極めて、適切な醸造を行う。ブルゴーニュでも珍しい女性ばかりの経営によるエレガンスとフィネスを極めるドメーヌである。

ブルゴーニュ・ルージュ

Bourgogne Rouge

ヴォーヌ・ロマネの最南端に位置する「Lutinières」から。1931年までは、ヴォーヌ・ロマネ・ヴィラージュAOCに指定されていた区画。

ヴォーヌ・ロマネ

Vosne Romanee

ヴォーヌ・ロマネの中心に位置する村名リュエディーでも特に優れたテロワールを有する「コロンビエール」が主要な畑。表土は厚めで肉厚なワインを生む土壌だが、このドメーヌにかかるとフィネスとエレガンスを併せ持つ類稀なるワインに仕上がる。

ニュー・サン・ジョルジュ・ブルミエ・クリュ・ヴィニュ・ロンド

Nuits Saint Georges 1er Cru Vignes Rondes

ヴォーヌ・ロマネと地続きになる丘にある1級畑。シェニュと比較して石灰質を多く含む土壌のため、骨格のしっかりとした長熟なワインを産する。

ニュー・サン・ジョルジュ・ブルミエ・クリュ・レ・シェニヨ

Nuits Saint Georges 1er Cru Les Chaignots

ヴォーヌ・ロマネ村の1級畑、ミュルジュとヴィニョロンドに隣接したヴォーヌ・ロマネの丘に位置する区画。ヴォーヌ・ロマネの丘とニュー・サン・ジョルジュの丘の間から流れる冷涼な風に葡萄が育まれるため、ふくやかな果実味と共にエレガントな酸味も併せ持つ。

ジュヴレイ・シャンベルタン・ブルミエ・クリュ

Gevrey Chambertin 1er Cru

同家所有のリュショット・シャンベルタンの区画で、若木のをセレクトして造られるキュヴェ。若木とは言えグラン・クリュの片鱗垣間見せるお買い得なワイン。

シャンボール・ミュジニー・ブルミエ・クリュ・レ・フスロット

Chambolle Musigny 1er Cru Les Feusselottes

集落直下にある1級畑。他の村では集落のある下部は昔の川が運んだ粘土質土壌が強くなるが、シャンボール・ミュジニーの場合は集落上部の石灰岩土壌が流されている為、集落下の畑も十分な石灰質を含む。またこの畑はボコボコとうねっており、複雑な要素が絡み合う。同じ区画の中でも葡萄が熟すのに差が出る為、未熟な粒を落としながら全体が熟すのを待って収穫。華やかな赤い果実と綺麗な酸が複雑な味わいに絡み合う。

リュショット・シャンベルタン

Ruchottes Chambertin

クロド・ヴージュと並んで当家の看板ワイン。平均樹齢55年の僅か0.64haから造られる希少なワイン。シャンベルタン・クロド・ベーズに隣接したベスト区画を所有していて、高貴で豊かなストラクチャーを持つ雄大なスケールを有するワインに仕上がる。

エシェゾー

Echezeaux

玉石混交の広いエシェゾーの中でも、中腹部レ・ルージュ・デ・パのやや北側の区画からミネラルに富んだ果実を得、レ・カルティエール・ド・ニューイというクロド・ヴージュに接する区画から丸みや柔らかさを持った果実を得る為、複雑味に富んだワインとなる。デリケートにして深遠、洗練されたタンニンが表情豊か。

クロ・ヴージュ

Clos Vougeot

ドメーヌ・ミュニユレ・ジブール Domaine Mugneret-Gibourg

		税込価格	在庫数
ヴォーヌ・ロマネ	2011	¥11,000	5
ヴォーヌ・ロマネ	2012	¥11,800	1
ヴォーヌ・ロマネ	2013	¥11,800	5
ニュー・サン・ジョルジュ・1ER・ヴィニュ・ロンド	2011	¥12,800	3
ニュー・サン・ジョルジュ・1ER・ヴィニュ・ロンド	2012	¥13,500	2